

政策名	5安全な港	責任者	総務部 危機管理室担当課長	連携担当課 (港営部)海務課
基本施策名	07危機管理機能の強化			
個別施策名	21防災対策を強化する			
事務事業名	05防災用資機材の確保	連絡先	052-654-7813	

1 PLAN(目的・概要)

目的	防災用資材の在庫等を点検し、災害時に対応できるよう随時確保していきます。	事業期間	昭和38年度～継続
概要	防災計画に基づき、防災用資材の保管数量及び保管場所の適正化を図るとともに、機材の随時点検を行い、不良な物は更新します。	根拠法令・要綱等	名古屋港管理組合防災計画
		実施義務	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無

2 DO(実施)

22年度の実施内容 【及び23年度の実施予定】	・22年度は、前年に使用した油吸着マットを50kg補充を行ったが、平成22年11月に同マット50kg使用を使用したため、23年度に再度補充を行う予定です。								
活動指標	年度	19	20	21	22	23	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)
防災資材の点検	単位	目標	1	1	1	1	1	1	定期的な点検等を実施します。
	回	実績	1	1	1	1			
保管基準量に対する 在庫数	単位	目標	6,668	6,668	6,668	6,668	6,668	6,668	基準数量 油吸着マット:3,500 油処理剤 :3,168
	個	実績	6,668	6,668	6,168	6,168			
事業費	千円		841	0	17	95	95		
人員	正規職員	人	0.10	0.10	0.10	0.05	0.05		
	嘱託職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
人件費相当額	千円		869	877	858	424	438		
事業費・人件費の合計	千円		1,710	877	875	519	533		

3 CHECK(検証)

決算ベース(H22は見込) ← → 予算ベース

成果指標	年度	19	20	21	22	23	中間目標	24	備考(指標の算定方法など)
保管基準量に対する 在庫保有率	単位	目標	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	油吸着マット及び油処理剤の基準数量を確保します。
	%	実績	100.0	100.0	93.0	93.0			
	達成率(%)		100.0	100.0	93.0	93.0			
	単位	目標							
		実績							
	達成率(%)								
観点	課題の有無	現状の「見える化」							その他特記事項
必要性	組合関与の必要性	有・ <input type="radio"/> 無							油流出事故等については、発生が不確定であり、予算要求時期との関係から、補充対応が翌、翌々年度となる場合があります。
	目的・水準の妥当性	有・ <input type="radio"/> 無							
有効性	利用者などの対象者ニーズ	有・ <input type="radio"/> 無							
	成果の達成度	有・ <input type="radio"/> 無							
効率性	内容の妥当性	有・ <input type="radio"/> 無							
	実施主体の妥当性	有・ <input type="radio"/> 無							
	受益者負担の適正性	有・ <input type="radio"/> 無							
	経済性	有・ <input type="radio"/> 無							

4 ACTION(取組)

参考(昨年度の評価)

今後の事務事業の方向性	今後の取組の方向性		今後の取組の方向性の判断理由
継続	成果	コスト	常時適正量を確保しておく必要があるため。
	維持	維持	
今後の取組内容(改善策、スケジュールの建て直し等)			

港湾管理者として防災用資機材の確保は必要なため、適宜補充を行っていきます。